

踏み跡 <My Mountains>

茨城(筑波)	樺穂から加波山	No.223
--------	---------	--------

昨年の夏筑波山へ行ったのがきっかけになり、筑波山周辺の山が気になってきた。色々調べてみると、車を使っての日帰り登山が可能などところが多いことが分かってきた。茨城の山を少しずつ歩いてみようと思い、手始めに加波山から手を付けてみることにして、かみさんを誘った。多少の山菜とりも期待できそうだということで意気投合したのは出発前夜。

平成4年5月11日

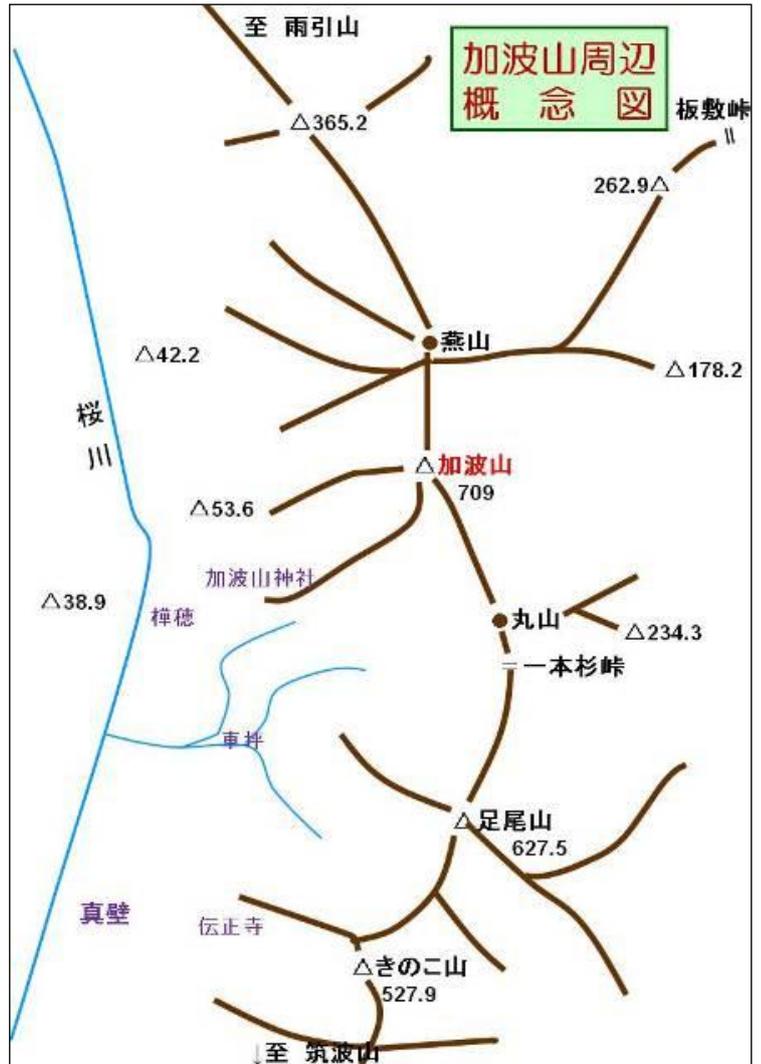
天気は快晴、8時40分出発。近場の山はゆっくりの出発で良いので楽だ。

土浦北インターで常磐自動車道を降りて国道125号線経由で真壁へ。走っている途中で、新緑の筑波山が絶えず右手に見えている。樺穂の加波山神社に10時30分に到着。駐車場に車を置いて登山スタイルに着替え、10時49分に出発。

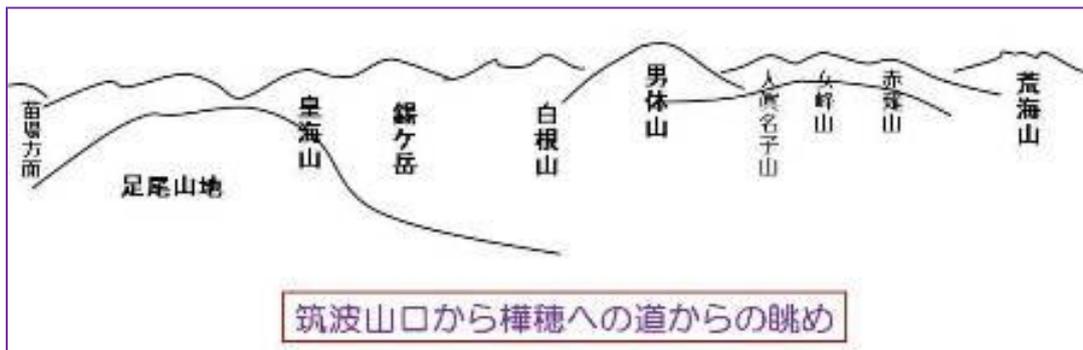
加波山神社本宮 12時20分。林の中で見通しは利かないので昼食と三角点探しに専念。

丸山とのコルから林道を歩いて一本杉峠へ。途中で採石場で道を尋ねたら、ついでにワラビが採れる所を教えてくれ一緒に採ってくれた。教えてもらったとおりに地図を見ながら車坪、峰坪、南坪と農道を通って、16時10分に元の加波山神社に戻った。途中でウドも一本見つけたし、タラノメ、ゼンマイもあり、素晴らしい土産になった。

加波山の印象。山が浅くアプローチが短いので気軽に入って行けるのが特徴だが、山が浅いために沢が乏しく水を見る楽しみは少ない。稜線から関東平野が一望でき、水田の輝きと畑の緑、川のうねりなどなど地図を見たとおりの眺めが広がっている。初夏らしさが満ち溢れ、景色と言うものが生き物であることを実感できる。東には霞ヶ浦、北西の方角には足尾や日光の山も望むことができ、平日のせいか人も少なくゴミも少なく、快適な茨城の山歩きを楽しむことができた。



以上



メモ用紙の裏側にメモスケッチしたので、見にくいためパソコンで模写再生してみた。